

調 査 票

I 貴事業所の概要

貴事業所の概要についてご記入ください。

創業年	明治 ____年 大正 ____年 昭和 ____年 平成 ____年 令和 ____年
企業形態	1. 個人事業者 2. 法人（資本金 ____万円）
従業者数※1	合計 ____人 うち { パート・アルバイト人数 ____人 家族従業員 ____人 }
従業員の和光市内居住率	1. 25%未満 2. 25～50%未満 3. 50～75%未満 4. 75%以上
代表者の年齢	1. ～30歳代 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳代 5. 70歳代 6. 80歳代～
事業所の機能 (1つに○印)	1. 単独事業所である 2. 当事業所が本所・本社・本店で、他に事業所がある 3. 他の場所に本所・本社・本店がある

※1) 役員・個人事業主・家族従業員・期間の定めなく雇用しているパート・アルバイトを含む

問1 貴事業所の業種は、次のどれに該当しますか。(最も年間売上高の多いもの1つに○)

1. 農業	2. 建設業	3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	5. 情報通信業	6. 運輸業, 郵便業
7. 卸売業	8. 小売業	9. 金融業, 保険業
10. 不動産業, 物品賃貸業	11. 学術研究, 専門・技術サービス業	12. 宿泊業, 飲食サービス業
13. 生活関連サービス業, 娯楽業	14. 教育, 学習支援業	15. 医療業
16. 社会保険・社会福祉・介護事業	17. その他サービス業※2	
18. その他()		

※2) 「17. その他サービス業」: 廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業

問2 貴事業所の主たる事業概要及び独自の商品・サービスの内容を書いてください。(具体的に)

(例) 家庭電化製品を販売。地域に根差した店として商品の説明やアフターサービスを丁寧に行うよう努めており、訪問設置サービスも行っている。

II 貴事業所の経営状況

問3 貴事業所の直近決算の年間売上高は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

1. 300万円未満	2. 300万円以上 500万円未満
3. 500万円以上 1,000万円未満	4. 1,000万円以上 5千万円未満
5. 5千万円以上 1億円未満	6. 1億円以上 10億円未満
7. 10億円以上 50億円未満	8. 50億円以上 100億円未満
9. 100億円以上	10. 事業所別では分からない

問4 新型コロナウイルス感染症の発生前の経営状況はどうでしたか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 黒字基調 | 2. 収支均衡 | 3. 赤字基調 |
|---------|---------|---------|

問5 令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)と令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)と比較して、次の項目はどのように変化していますか(各1つに○)

※事業所別に分からない場合、回答は不要です。

①売上高	1. 増 加 (5%以上)	2. ほぼ横ばい (±5%未満)	3. やや減少 (-30%未満)	4. 減 少 (-50%未満)	5. 大幅減少 (-50%以上)
②経常損益	1. 増 加 (5%以上)	2. ほぼ横ばい (±5%未満)	3. やや減少 (-30%未満)	4. 減 少 (-50%未満)	5. 大幅減少 (-50%以上)

問6 貴事業所が受けた新型コロナウイルス感染症の影響は、次のどれに該当しますか(1つに○)

- | | | | |
|------------|-----------|----------|----------|
| 1. マイナスの影響 | 2. プラスの影響 | 3. 影響はない | 4. わからない |
|------------|-----------|----------|----------|

問7 今後、ポスト・コロナ期の事業を展開する上で重要と思われる点は次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 運転資金の調達	2. 組織再編	3. 新規顧客の開拓
4. インターネット販売事業転換	5. キャッシュレス化の推進	6. テレワークの推進
7. 事業のデジタル化	8. 働き方の見直し	9. 新規人材の採用
10. 新事業の創出	11. 事業転換	12. 事業所・店舗の改修
13. 移転・事業所の統廃合	14. 特になし	15. その他 ()

Ⅲ 貴事業所の事業状況

問8 主な顧客・取引先の地域(商圈)は、次のどれに該当しますか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | | | |
|----------------------|----------|--------|--------|
| 1. 和光市内 | 2. 近隣市域内 | 3. 埼玉県 | 4. 東京都 |
| 5. 東日本※ ³ | 6. 東海地域 | 7. 全国 | 8. 国内外 |

※3) 東日本ー北海道、東北、(首都圏を除く)

問9 海外市場との取引を行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 海外からも仕入れている | 2. 海外にも販売・取引をしている※ ⁴ |
| 3. 海外取引をしていないが関心がある | 4. その他 () |

※4) 商社等を通じた間接的販売を含む

問10 事業環境の変化に対応するため、最近事業を見直し・変更したことがありますか。もしくは、今後取り組みたいとお考えのことはありますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|---------------|-----------------|
| 1. 新事業展開 | 2. 主要事業の内容変更 | 3. 顧客・客層の変更 |
| 4. 販売方法の変更 | 5. 一部事業の終了・廃止 | 6. 同業種・異業種マッチング |
| 7. その他 () | 8. 特段変えていない | |

以下の製造業問 11～問 15 は、製造業の方だけご回答ください。
製造業以外の方は 次頁(4頁)問 16 にお進みください。

製造業のみ 問 11 貴事業所の業種は、次のどれに該当しますか。(最も年間売上高の多いもの1つに○)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 食料品、飲料・たばこ・飼料 | 2. 繊維工業、なめし革・同製品・毛皮 |
| 3. 木材・木製品、家具・装備品 | 4. パルプ・紙・紙加工品、印刷・同関連 |
| 5. 材料・部品【非金属】(化学工業、プラスチック製品、ゴム製品、窯業・土石製品) | |
| 6. 材料・部品【金属】(鉄鋼、非鉄金属、金属製品) | 7. 一般・精密機械 |
| 8. 電気・電子 | 9. 輸送用機械器具 |
| 10. その他の製造業() | |

製造業のみ 問 12 主な生産内容は、次のどれに該当しますか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 自社ブランド生産 | 2. 設計を含む加工・受注生産 |
| 3. 相手先仕様による加工・受注生産 | 4. OEM生産(相手先ブランドによる生産) |
| 5. 製品開発が主で生産は外注 | 6. その他() |

製造業のみ 問 13 年間売上高第1位の顧客・取引先の属性は、次にどれに該当しますか
(最も当てはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---------------|-----------|-----------|--------------|
| 1. 親会社 | 2. 大手メーカー | 3. 中堅メーカー | 4. 中小・零細メーカー |
| 5. 卸売業・代理店・商社 | 6. 小売業 | 7. サービス業 | 8. 官公庁・大学 |
| 9. その他() | | | |

製造業のみ 問 14 年間売上高第1位の顧客・取引先との取引は全売上高においてどのぐらいの比率を占めていますか。(1つに○)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 10%未満 | 2. 10～20%未満 | 3. 20～40%未満 | 4. 40～60%未満 |
| 5. 60～80%未満 | 6. 80%以上 | | |

製造業のみ 問 15 事業用地・建物において問題点がありますか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|
| 1. 建物の老朽化 | 2. 敷地が手狭になっている | 3. 道路が狭い・混雑している |
| 4. 賃料負担が大きい | 5. 操業規制(音・臭い等)がある | 6. 近隣住宅との関係 |
| 7. 産業集積が薄れた | 8. 取引先が遠くなった | 9. 通勤・移動が不便 |
| 10. 人材が確保できない | 11. その他() | 12. 特になし |

問 16 貴事業所において、ICT(情報通信技術)※5を活用して取り組んでいることはありますか。
(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 経営資料のデジタル化 | 2. 人事・労務管理のデジタル化 |
| 3. 顧客・販売管理のデジタル化 | 4. 自社によるインターネット取引・販売 |
| 5. インターネットショッピングモールへの出店 | 6. HP や SNS などによる情報発信 |
| 7. 顧客支払決済のキャッシュレス化 | 8. ネットを利用した金融サービス |
| 9. Web を通じた会議・商談 | 10. 連絡ツール (電子メール・社内 SNS 等) |
| 11. テレワーク | 12. スマートフォンの活用 |
| 13. <u>取り組んでいない</u> | 14. その他 () |

※5) ICT:コンピュータやインターネットに関連する情報通信技術全般

問 16 で「13」と回答された方にお聞きします。

問 16-1 取り組んでいない理由は、次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 特に必要を感じていない | 2. 何から手をつければ良いのか分からない |
| 3. 相談先がない | 4. 何を導入すれば良いか分からない |
| 5. 対応する人材がない | 6. 費用がかかる |
| 7. 情報漏洩が心配 | 8. その他 () |

問 17 貴事業所において、AI(人工知能)※6を活用して取り組んでいることはありますか。
(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 顧客からの問い合わせ対応 (チャットボット) | 2. 請求書・契約書の自動処理 |
| 3. 顧客データ (購入履歴や行動データ等) の分析 | 4. ターゲット広告の最適化 |
| 5. 人事・採用における履歴書等の分析 | 6. 社内研修の個別最適化 |
| 7. 需要予測と在庫管理 | 8. 配送ルート of 最適化 |
| 9. 市場調査・分析 | 10. 品質管理の向上 (製造過程の異常検知) |
| 11. <u>取り組んでいない</u> | 12. その他 () |

※6) AI:人間の知能を模倣する技術

問 17「11」と回答された方にお聞きします。

問 17-1 取り組んでいない理由は、次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 特に必要を感じていない | 2. 何から手をつければ良いのか分からない |
| 3. 相談先がない | 4. 何を導入すれば良いか分からない |
| 5. 対応する人材がない | 6. 費用がかかる |
| 7. 情報漏洩が心配 | 8. その他 () |

問 18 貴事業所において、キャッシュレス決済を導入していますか。

- | | | |
|------------------|---------------------|----------------------|
| 1. <u>導入している</u> | 2. <u>導入する予定がある</u> | 3. 導入していない (導入予定はない) |
|------------------|---------------------|----------------------|

→「3」と回答した方は、問 18-2 へお進みください

問 18「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。

問 18-1 導入した(導入予定の)キャッシュレス決済方法は、次のどれに該当しますか。
(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. クレジットカード | 2. 交通系 IC カード (Suica, PASMO など) |
| 3. 流通系電子マネー (WAON, nanaco など) | |
| 4. QR コード決済 (PayPay, au PAY, 楽天ペイ, LINE Pay など) | |
| 5. モバイルウォレット・スマホ決済 (Apple Pay, Google Pay, iD, QUICPay など) | |
| 6. その他 () | |

問 18「3」と回答された方にお聞きます。

問 18-2 導入していない理由は、次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)
(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 特に必要を感じていない | 2. 何から手をつければ良いのか分からない |
| 3. 相談先がない | 4. 何を導入すれば良いか分からない |
| 5. 導入費用がかかる | 6. 決済手数料がかかる |
| 7. その他 () | |

IV 人材の確保・育成

問 19 貴事業所の人材確保状況は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 1. 不足している | 2. 概ね適当・不足していない | 3. 人材は過剰気味である |
|-----------|-----------------|---------------|

→「2」もしくは「3」と回答した方は、問 20 へお進みください

問 19 で「1」と回答された方にお聞きます。

問 19-1 不足している人材は、次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------|-----------|-------|------------|
| 1. フルタイム | 2. パートタイム | 3. 派遣 | 4. その他 () |
|----------|-----------|-------|------------|

問 19-2 不足している人材の職種は、何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|-------------|---------------|----------|-----------------|--------|
| 1. 企画・開発 | 2. マーケティング | 3. 営業 | 4. 販売 | 5. 技術職 |
| 6. ICT | 7. 海外取引 | 8. 法務・財務 | 9. 中間管理職・マネージャー | |
| 10. 事務職 | 11. 医療・看護・介護等 | | | |
| 12. その他 () | 13. 特になし | | | |

問 20 貴社が人材を確保する上での課題は、何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 求人に費用がかかる | 2. 採用担当者が不足している |
| 3. 求人に必要な情報・知識が不足している | 4. 有効な求人情報の発信ができていない |
| 5. 応募はあるが希望する人材が確保できない | 6. 採用してもすぐ辞めてしまう |
| 7. 応募がない | 8. 特になし |
| 9. その他 () | |

問 21 貴社が人材を確保する上で、どのような支援策が必要ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 企業を集めた合同説明会などの開催や支援 | 2. 企業が自ら行う説明会などの経済的支援 |
| 3. 市外で行われる説明会などの参加費の補助 | 4. 地元雇用に対する補助金の拡充 |
| 5. 社宅や社員寮の整備費用に対する経済的支援 | 6. 採用や育成に関するセミナーの開催や支援 |
| 7. 保育所や学童保育の充実による従業員の子育て支援 | 8. インターンシップの受け入れ支援 |
| 9. 求人の募集に関する支援 | 10. 求人募集に関する支援 |
| 11. 特になし | 12. その他 () |

問 22 和光市では、高齢者が生き活きた日常生活を送るために、ボランティア活動を通した「役割のある形での社会参加」を推進しています。高齢者による有償・無償のボランティア※7を貴社で受け入れることについて、関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 関心がある | 3. 少し関心がある |
| 4. あまり関心が無い | 5. 関心がない | 6. まったく関心が無い |

※7) 有償・無償のボランティア活動の例: 壁面装飾やお祭りで配るノベルティの制作、開発中商品の実証モニター、開発中アプリのインタビュー等、高齢者の趣味や経験を活かした活動(和光市ではこれらの活動を“就労的活動”と称しています)

問 22-1 貴社は、低頻度・短時間(週1～3日、1日1～4時間程度)で高齢者を新規に雇用すること※8に関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 関心がある | 3. 少し関心がある |
| 4. あまり関心がない | 5. 関心がない | 6. まったく関心がない |

問 22-2 高齢者による有償・無償のボランティア活動や、低頻度・短期間の雇用について、市の担当者等の説明を聞いてみても良いと思いますか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 有償・無償ボランティアについての説明を聞いても良い |
| 2. 低頻度・短時間の雇用について説明を聞いても良い |
| 3. 説明は希望しない ⇒差し支えなければ理由を教えてください。 |

V 事業承継

問 23 現在の代表者の承継状況は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|------------|----------------------|
| 1. 創業者 | 2. _____代目 | 3. 本社ではないので事業承継者はいない |
|--------|------------|----------------------|

→「3」と回答した方は、問 24 へお進みください

問 23 で、「1」もしくは「2」と回答された方にお聞きます。

問 23-1 後継者の状況は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 決まっている(親族) | 2. 決まっている(親族以外) |
| 3. 候補はいるが決まっていない | 4. 承継したいが候補がいらない |
| 5. まだ決める必要がない | 6. 承継しない |
| 7. その他 (_____) | |

問 23-2 事業承継について、課題はありますか。(当てはまる方に○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

→「2」と回答した方は、問 24 へお進みください

問 23-2 で、「1」と回答された方にお聞きます。

問 23-3 事業承継における課題は、次のどれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 後継者の育成 | 2. 承継者探し |
| 3. 従業員の理解 | 4. 相続税・贈与税等の税金対策 |
| 5. 自社株等の資産の取扱い | 6. 承継前の経営者の個人補償や担保 |
| 7. ノウハウ・スキル等の承継 | 8. 事業承継に係る法制度・税制度 |
| 9. その他 (_____) | |

問 23-4 問 22-3 で「1. 後継者の育成」と回答された方にお聞きます。課題となっている内容をお書きください。

Ⅵ 立地・設備投資

問 24 事業所等の立地や設備投資の今後の方向性は、次のどれに該当しますか。

(最も当てはまるもの 1 つに○)

- | | | | |
|-------------|---------------|--------------|-------------|
| 1. 現状を維持する | 2. 建替え・改修をしたい | 3. 設備更新をしたい | 4. 市内で拡張したい |
| 5. 市外で拡張したい | 6. 市外へ移転したい | 7. 事業所を縮小したい | 8. 廃業のため閉鎖 |
| 9. その他 () | | | |

→「5」、「6」以外と回答した方は、問 25 へお進みください

▶ 問 24 で、「5」～「6」と回答された方にお聞きます。

問 24-1 市外に拡張・移転する主な理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|--------------|----------------|
| 1. 市内では必要面積が確保できない | 2. 顧客が少ない | 3. コストが高い |
| 4. 物流の利便性が悪い | 5. 通勤の利便性が悪い | 6. 求める施設・設備がない |
| 7. 人材確保が困難 | 8. その他 () | |

Ⅶ 貴事業所の課題

問 25 貴事業所における経営上の課題は、次のどれに該当しますか。(項目ごとに当てはまるものに○)

①販売先や取引先の開拓	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
②顧客の減少	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
③商品・サービスの魅力向上	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
④技術・専門性の向上	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
⑤ICT の活用・DX 対応	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
⑥情報発信力の強化	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
⑦業務の効率化	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
⑧人材確保・育成	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない
⑨店舗・設備の老朽化・不足	1. 大いに課題	2. やや課題	3. あまり課題でない	4. 課題でない

Ⅷ 今後の展開

問 26 今後の主な事業展開について、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 現状維持 | 2. 事業の拡大 | 3. 事業の多角化 | 4. 事業の縮小 | 5. 業種を転換 |
| 6. 廃業の予定 | | | | |
| 7. その他 () | | | | |

問 27 今後のネットワークづくりについて、関心のあるものは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 市内事業者との取引拡大 (事業所情報の発信やビジネスマッチング 等) |
| 2. 異業種事業者との交流・連携 (情報交換・交流会・ビジネスマッチング 等) |
| 3. 新規取引先開拓 (ビジネスマッチング 等) |
| 4. 大学・研究機関との交流・連携 (交流会・テーマ型研究会 等) |
| 5. ICTを活用したネットワーク |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

Ⅸ 公的支援策の利用

問 28 和光市商工会は、中小企業・小規模事業者の繁栄を支える組織であり、多くの商工業者が業種や業態の相違を超えて商工会活動に参加する中で、商工業の振興を図るとともに、地域の社会的・文化的側面においても大きな役割を果たしています。

貴社の商工会加入について、該当するものは次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 既に参加している | 2. 加入予定である・加入に興味がある |
| 3. 過去に参加していたが脱会した | 4. 加入しておらず今後も加入予定はない |

問 28 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きます。

問 28-1 脱会した理由又は加入しない主な理由は、何ですか。

- | | | |
|------------------------|-----------------|----------|
| 1. 商工会加入により受ける支援が分からない | 2. 支援を受ける必要がない | 3. 会費が高い |
| 4. 商工会の存在を知らなかった | 5. 求める支援メニューがない | |
| 6. その他 () | | |

問 29 貴社の資金繰りについて、公的支援の拡充は必要ですか。(当てはまる方に○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 必要である | 2. 必要ない |
|----------|---------|

問 29 で、「1」と回答された方にお聞きます。

問 29-1 どのような公的支援の拡充が必要ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 中口資金・特別小口資金融資の貸付限度額の増額 | 2. 市融資制度の利率低下 |
| 3. 市融資制度利子補給割合の増加 | 4. 利子補給補助金の支給を早める(現在は年単位で後払い) |
| 5. 設備導入に係る補助金制度の創設 | 6. 賃金改定企業に対する補助金制度の創設 |
| 7. 創業者向け融資メニューの創設 | 8. その他 () |

問 30 市では、現行の第二次和光市産業振興計画(計画期間令和4年度～13 年度)に基づき、6つの方向性に集約して支援を実施しています。

①持続的発展に向けた経営支援

②次代を担う産業・事業の創出

③都市農業の推進

④和光ブランドの発展的展開

⑤いきいきと働く環境づくり

⑥和光産業を支える基盤の強化

この施策に基づき、現在下記のような具体的な支援策があります。今までこの支援策を利用したことがあるか、また今後の利用に対する関心があるかについて、それぞれ当てはまるものに○を入れてお答えください。重複の回答も可能です。

支援策名称	支援策を知っている場合○	利用したことが有る場合○	今後の利用に関心が有る場合○
【中小企業資金融資】 市内中小企業が事業資金を金融機関から借り入れにあたり、県信用保証協会の保証がある融資制度。支払利子の1／2を利子補給補助金として交付。			
【企業市民認定制度】 地域の社会活動を行う企業を認定して、自発的な活動の推進を促し、市、市民及び企業による協働のまちづくりに寄与する土壌生み出す制度。			
【和光ブランド認定制度】 地域ブランドの創出や地域資源の認定を行い、市民が地域に愛着を持つ土壌を作り、市外在住者が和光市に興味を持ちきっかけを作る制度。			
【技能者表彰】 事業所で各職種に長年にわたり従事し、事業所の向上及び後進育成等に貢献した者を表彰する制度。			

問 31 和光市の産業振興の方向性として、どのようなまちを目指すとよいでしょうか。
(当てはまるものすべてに○)

1. 事業がしやすい環境づくり (操業環境、通勤の利便性等) 2. 事業用地の整備・企業誘致の推進 3. 個性的な魅力ある店舗づくりにチャレンジできる環境づくり 4. まちのにぎわい創出 5. 人材が豊富で多くの人々が元気に働ける環境づくり 6. 創業・起業がしやすい環境づくり 7. 異業種が交流し新たな事業を創出する環境づくり 8. 市民と事業者のよる地域産業活性化の取組の推進 9. その他 ()
--

問 32 当面(おおよそ1～3年)の支援策及び、中長期(おおよそ4～10 年)の事業活動に対して、どのような支援策を充実してほしいですか。
(項目ごとに当てはまるものに○)

項目	（当てはまる項目に○）	
	短期 （1～3年）	中長期 （4～10年）
1. 経営相談、専門家による診断・アドバイスの充実		
2. 商品・サービスの魅力向上		
3. 販路開拓支援（情報発信 等）		
4. 来街者を増やすにぎわいづくり		
5. 新事業の創出、業態転換・経営革新への支援		
6. デジタル化・ICTの活用		
7. 企業間連携・異業種交流		
8. 大学や研究機関（国立研究開発法人理化学研究所等）との連携		
9. 人材の確保・採用		
10. 多様な働き方への支援（テレワーク環境、子育て・介護との両立支援等）		
11. コワーキング※ ⁹ スペースの整備		
12. 事業承継への支援		
13. 事業所・店舗の改修、設備の更新・新規導入		
14. 資金調達（融資）		
15. 脱炭素に向けた取組支援（省エネ化、再生エネ化、新事業化等）		
16. その他（ ）		

※9)コワーキング:事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル
和光市の産業振興について、ご意見・要望などありましたら、自由にご記入ください。

[illegible]

【 訪問ヒアリングご協力のお願い 】

今後、いくつかの事業者様には個別に訪問して、さらに詳しくお話をお伺いするヒアリング調査を予定しています。その場合、調査にご協力いただけますでしょうか。当てはまる方に○印を付けてください。

1. 協力してもよい

2. 協力できない

➔ 「1. 協力してもよい」と回答された方は、ご連絡先をお書きください。

事業所名	
所属・役職	
お名前	
e-mail	@
電話番号	- -

以上でアンケートは終わりです。ご多忙の中、ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒（切手は不要）にて、令和7年9月1日（月）までにご投函ください。

なお、締切日を過ぎても確認のためご返信ください。